

いわき復興への軌跡

いわき都市計画事業 震災復興土地区画整理事業



小名浜港及び背後地



いわき市
IWAKI CITY

は じ め に



平成23(2011)年3月11日に発生した「東日本大震災」により、本市は約18km²に及ぶ沿岸部の広範なエリアが津波で浸水したほか、460名を超える尊い命と多くの貴重な財産が奪われ、建物被害は9万棟を超えるなど甚大な被害が生じました。

そのため本市では、既成市街地の復旧・復興はもとより、防災性に優れた市街地をあらたに形成するため、久之浜、薄磯、豊間、小名浜港背後地、小浜、岩間の津波被災6地区において「震災復興土地区画整理事業」を実施することとし、各地区の皆様の意向を伺いながら事業を推進するとともに、小名浜港背後地においては、物流の拠点である小名浜港の再生はもとより、産業・観光振興の拠点として、更には本市の復興のシンボルとして、港と市街地の一体的なまちづくりの実現に向けた取組みを官民一体となり進めて参りました。

これら6地区においては、平成30(2018)年6月までに全ての宅地引渡しが完了し、また、道路、公園等の公共施設についても、同年7月までに全ての工事が竣工したことから、今般、合同竣工式典を執り行い、皆様とともに大きな節目を祝うことといたしました。

地権者の皆様をはじめ、各行政区の役員や震災復興土地区画整理審議会委員、国・県等の関係職員、そして工事関係者の皆様など、本事業に御協力を賜りました全ての皆様に、あらためて厚く御礼を申し上げます。

市といたしましては、引き続き「ふるさといわきの力強い復興」に向け、津波被災地区の新しいまちづくりとコミュニティの再生を着実に推し進めながら、震災前にも増して、安全・安心で、快適な生活環境を実現できるよう、復興の総仕上げに向けた様々な施策に総力を挙げて取り組んで参ります。

また、復興の先を見据え、すべての市民の皆様が「住んで良かった、住み続けたい」と思える魅力あふれるまちづくりを進め、「いわき新時代」を切り拓いて参りますので、皆様には、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

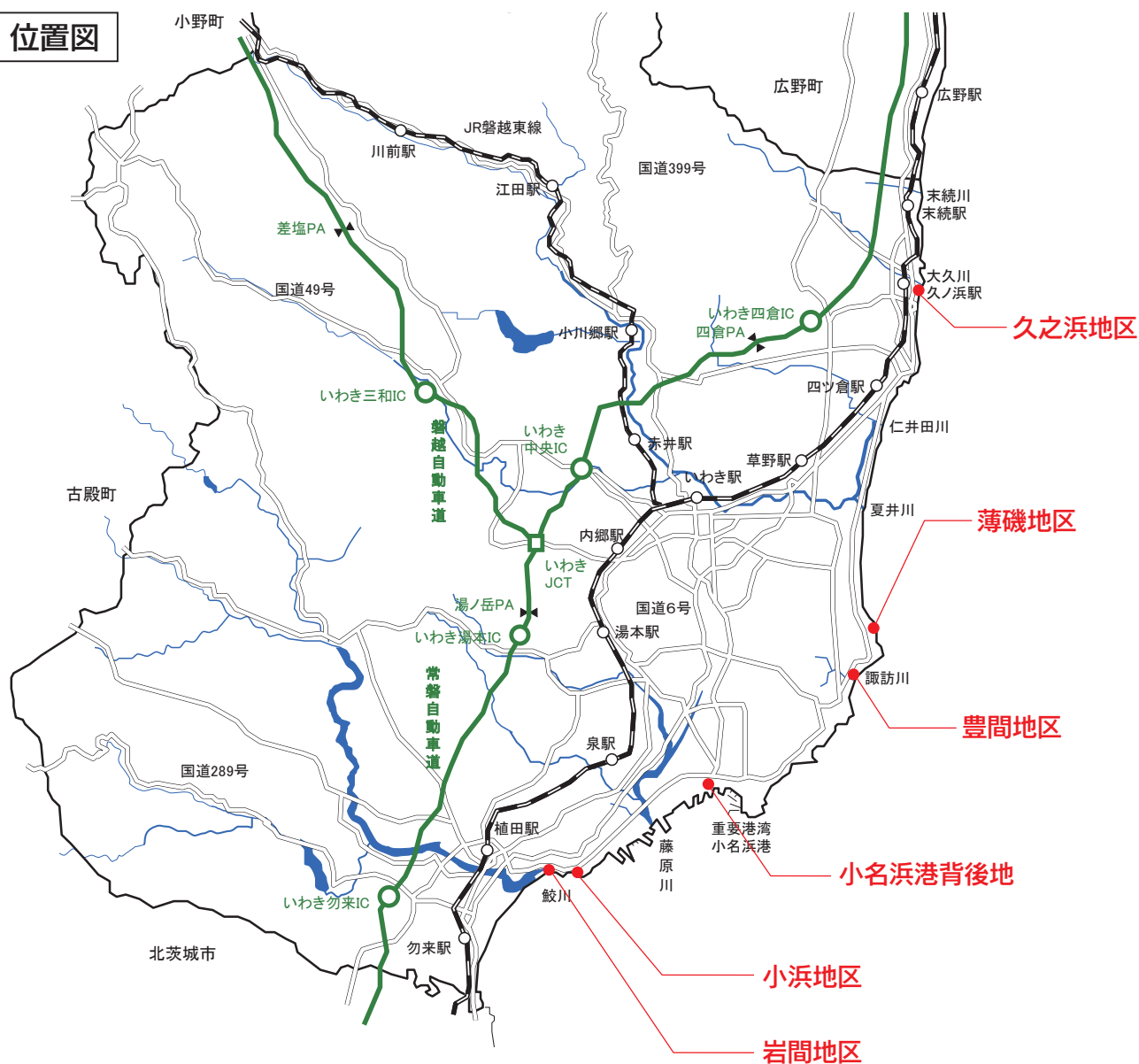
平成30(2018)年9月

いわき市長 清水 敏 男

も く じ

東日本大震災の概況	1
復興まちづくりに向けた取り組み	2
事業の概要	5
久之浜地区	5
薄磯地区	7
豊間地区	9
小名浜港背後地	11
小浜地区	13
岩間地区	15
震災復興土地区画整理事業のあゆみ	17
復興の現状	17

位置図



東日本大震災の概況

平成23年3月11日、午後2時46分に三陸沖を震源とする国内観測史上最大マグニチュード9.0の「東北地方太平洋沖地震」が発生し、本市においても震度6弱の激しい揺れを観測しました。

地震発生後に津波の第一波が到達、さらに巨大津波となった第二波により本市沿岸部では1,776haもの広域な範囲が浸水し、沿岸部を中心に多くの人命が失われるとともに、約9万棟を超える家屋被害など、都市・産業基盤が破壊され、被害は甚大なものとなりました。

【地震の概況】

- 発生日時 平成23年3月11日（金）
午後2時46分頃
- 震央場所 三陸沖（北緯38.1度、東経142.8度）
牡鹿半島の東約130km
- 地震名 東北地方太平洋沖地震
- 震源の深さ 約24km
- 規模 マグニチュード9.0
- 本市震度 震度6弱
- 本市最大津波高
8.57m（豊間地区）

【被害の状況】（平成31年3月末日現在）

- 浸水面積 1,776ha
- 人的被害 死者・行方不明者 467人
（うち関連死137人）
- 家屋被害 91,180棟
（うち全壊・大規模半壊17,155棟）



津波襲来の状況（豊間地区／鈴木利明氏提供）

被災直後の各地区の状況



久之浜地区（いわき民報社提供）



薄磯地区（小野貞夫氏提供）



豊間地区（佐藤貴行氏提供）



小名浜港背後地（小磯國雄氏提供）



小浜地区（いわき市所蔵）



岩間地区（いわき市所蔵）

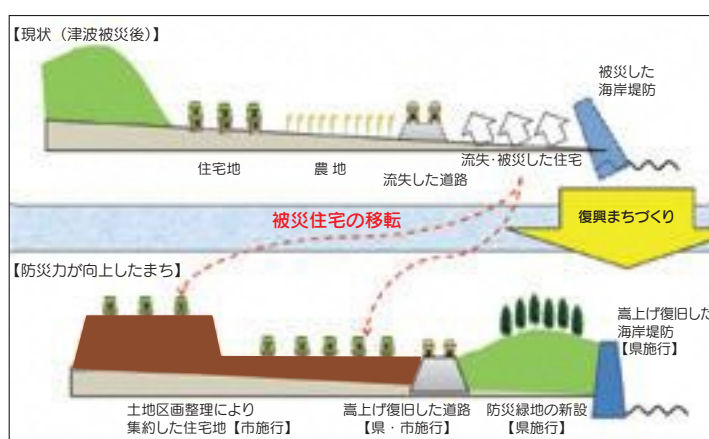
復興まちづくりに向けた取り組み

市では、未曾有の災害からの復旧・復興に向け、平成23年6月に「いわき市東日本大震災復興本部」を立ち上げ、同年9月に震災復興に向けた基本方針や主要な施策などを示す「市復興ビジョン」を、同年10月には被災した公共施設や社会基盤等の復旧までの作業工程を示した「市復旧計画」を、そして、同年12月には復興に向けた具体的な取り組みを示した「市復興事業計画」を策定しました。

この「市復興事業計画」の重点施策に位置付けられた「津波被災地域の復興に向けた土地利用」、「小名浜港周辺の一体的な整備・再生」の具現化に向け、広範かつ甚大な被害を受けた既成市街地を速やかに復興するとともに、防災性に優れた市街地を形成するため、津波を防ぐための河川や海岸堤防の嵩上げなどの整備に合せ、背後の市街地や隣接する農地、山林などを含めた区域に、宅地や道路、公園、防災緑地などの公共施設を一体的に整備する「震災復興土地区画整理事業」に取り組むこととしました。

生活基盤再生のための震災復興土地区画整理事業の概要

整備内容 地区	被災面積		計 画	
	浸水面積	全半壊	面 積	区画数
久之浜	20.2ha	270戸	28.4ha	213区画
薄磯	27.0ha	326戸	37.0ha	185区画
豊間	57.4ha	689戸	55.9ha	349区画
小浜	4.3ha	50戸	3.8ha	32区画
岩間	11.6ha	188戸	12.5ha	59区画



事業のイメージ（横断図）

また、小名浜港背後地については、震災前より、官民一体となって、物流拠点である小名浜港の再生はもとより、産業・観光振興の拠点として、「港と既成市街地の一体的なまちづくり」の実現に向け継続した取り組みを実施してきました。震災以降では、当地区を「本市復興のシンボル」と位置づけ、震災復興土地区画整理事業と併せて、津波復興拠点整備事業やまちなか回遊性向上事業などを活用し、震災からの活力ある復興と将来に希望と期待の持てるまちの実現に向けた事業を展開しました。

復興のシンボルとしての小名浜港背後地における拠点整備事業の概要

事業名	内 容
震災復興土地区画整理事業	鉄道貨物ターミナルの移転、都市計画道路や区画道路の整備、県庁舎の移転など
津波復興拠点整備事業	ペDESTリアンデッキや交通ターミナル、ポケットパークの整備、国庁舎の移転など
まちなか回遊性向上事業	港と既成市街地の導線整備（道路の一部拡幅、舗装の高質化、ポケットパークの整備など）



小名浜港及び背後地の復興イメージ図

復興まちづくりに向けた取り組み

津波被災地区における復興まちづくりを進めるにあたっては、地区の皆様の意向を伺いながら事業内容を検討するため、被災された方々へのアンケート調査をはじめ、地区の復興対策協議会や行政区役員の方々と
の打合せ等を数多く実施するとともに、地区住民説明会や個別面談などを開催し、市の取り組みについての十分な説明と合意形成に心掛けてきました。

また、各地区に設置した「震災復興土地区画整理審議会」において、施行地区内の地権者代表や学識経験者の各委員に、換地計画など重要事項について慎重な審議をいただき、その意見を反映して適正に事業を進めるとともに、地権者の方々へ事業の進捗状況等を「区画整理だより」などでお知らせするなど、情報の発信に努めてきました。



事業前説明会（豊間地区／平成23年11月）



震災復興土地区画整理審議会（小浜地区第2回／平成25年12月）



工事説明会（久之浜地区／平成27年9月）



震災復興土地区画整理審議会（薄磯地区第6回／平成26年3月）

復興グランドデザイン策定・推進による地区のまちづくり

津波被災地区の再生を図るためには、住民と行政とが役割を分担しつつ復興への努力を共に続けていく必要があることから、市は「久之浜・大久地区」、「沼ノ内・薄磯・豊間地区」、「小浜・岩間地区」において、住民との協働により地区の復興と将来に向けた新しいまちづくりの目標・方策を明らかにする「復興グランドデザイン」の策定に取り組んできました。

この結果、平成26年7月に久之浜・大久地区、平成27年5月に沼ノ内・薄磯・豊間地区、同年7月に小浜・岩間地区の復興グランドデザインをそれぞれ策定しました。



久之浜・大久地区



沼ノ内・薄磯・豊間地区



小浜・岩間地区

UR都市機構を活用した復興まちづくりの推進



合同安全祈願祭・起工式
(豊田・薄磯地区／平成25年12月)

6地区の震災復興土地区画整理事業を同時に進めるにあたり、被災地区の復興に向け、多岐にわたる事業を迅速に進めるため、いわきニュータウンなどの開発事業を多く手掛け、阪神・淡路大震災の復興事業の実績も有するUR都市機構（独立行政法人都市再生機構）へ協力を要請しました。

その結果、平成25年2月に、本市とUR都市機構との間で「協力協定」を締結し、UR都市機構のマンパワーやノウハウを活用しながら、薄磯及び豊田地区における震災復興土地区画整理事業を協働で実施することとしました。

UR都市機構では、復興の早期実現に向け、必要な設計や工事等をCM（コンストラクション・マネジメント）方式により一括発注し、民間の知恵や技術を最大限活用しながら工程の短縮を図ってきました。

官民一体となったまちづくり



本市とイオンモール㈱との事業用定期借地権設定契約に係る会見（小名浜港背後地／平成28年7月）

本市では、小名浜港背後地において、小名浜まちづくり市民会議と協働で平成22年に策定した「小名浜港背後地開発ビジョン」を基本とし、震災後、開発事業協力者に選定したイオンモール㈱と協働で、地元まちづくり団体や地域の商店会などと協議を重ね、平成26年4月に「開発事業計画」を策定するとともに、「開発事業の実施に関する基本協定」を締結しました。

その後、平成28年7月に本市とイオンモール㈱との間で事業用定期借地権設定契約を締結し、複合商業施設の建設に向けた具体的な作業を進めてきました。

津波被災地区では、復興事業を実施するにあたり、まずは、瓦礫の撤去、流出家屋の基礎撤去等を行わなければなりませんでした。

また、基盤整備にあたっては、高台造成に伴い大量に発生する残土を有効に活用するための調整や、海岸・河川堤防、防災緑地、水道、電気など関連する工事相互の工程調整が必要であったこと、被災した家屋の移転などを同時期に行うことができず、全面的な施工が困難であったことなど、工期の短縮が思うように図れない状況のなか、市・関係機関及び施工業者が一体となって事業の進捗に努めてきました。

こうした中、応急仮設住宅や借り上げ住宅等での仮住まい生活を余儀なくされている権利者の方々から、宅地の早期引き渡しを望む要望も多く寄せられましたが、御理解をいただきながら、着実に事業を進めてきました。

様々な課題を一つずつ解決しながら事業を進めてきた結果、平成30年6月までに全ての宅地引渡しが完了し、また同年7月には道路、公園等の公共施設についても全ての工事が竣工しました。

事業の概要（久之浜地区）

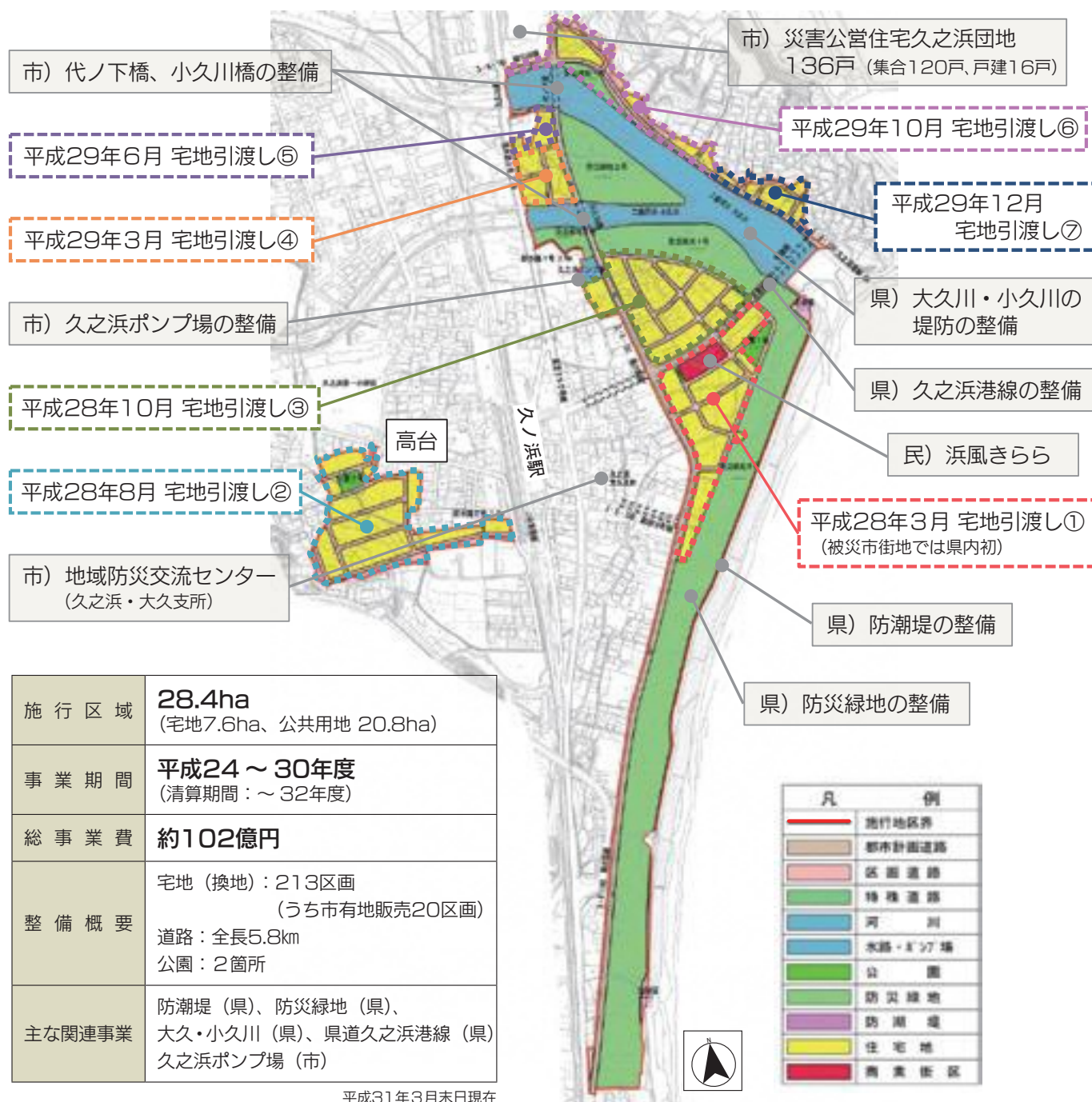
久之浜震災復興土地区画整理事業の概要

■久之浜地区は、いわき市平の中心市街地から北東約15kmに位置し、市街地エリアの西側にはJR常磐線久ノ浜駅が立地。

■波立海岸を中心とする海岸線と天然の入江を利用した久之浜港を有し、豊富な水辺・自然を活かしたまちが形成されていたが、震災により市街地エリア内の約6割の建物が流出・延焼。

◎復興まちづくりに向けて、津波から市街地を守る防潮堤及び背面の防災緑地を合わせた多重防御施設の整備と土地区画整理事業による高台住宅地等の整備を一体的に実施。

◎地元商業者の熱意により震災直後に開設した仮設商店街『浜風商店街』の活力をまちの賑わい再生に活かすため、地区中央部に商業街区（浜風きらら）を配置。



(これまでの主な事業経過)

- 平成24年 8月 震災復興土地区画整理事業の都市計画決定
- 11月 道路・河川・防災緑地・防潮施設の都市計画決定
- 平成25年 2月 震災復興土地区画整理事業の認可
- 8月 第1回土地区画整理審議会の開催
(平成30年6月までに計12回開催)
- 平成25年12月 工事着手に伴う安全祈願祭及び起工式の開催
- 平成26年 1月 仮換地指定
- 平成28年 3月 県内初となる被災市街地の宅地引渡し(39区画)
平成29年12月までに全宅地(213区画)引渡し完了
- 平成30年 2月 代ノ下橋・小久川橋の橋梁架替工事竣工
- 7月 竣工記念碑除幕式の開催
- 8月 換地計画認可
- 11月 換地処分
- 12月 新地番施行

復興まちづくりの将来イメージ



工事進捗の様子



(平成23年12月)



(平成27年12月)



宅地引渡し式(平成28年3月)



「浜風きら」オープンテープカット(平成29年4月)

地区の現況(平成30年6月)



事業の概要（薄磯地区）

薄磯震災復興土地区画整理事業の概要

■薄磯地区は、いわき市平の中心市街地から南東約10km、太平洋沿岸（塩屋埼灯台の北方）に位置。

■風光明媚な湊の風景をなす優れた住環境を有し、薄磯海水浴場は、年間26万人の入込客数を誇る観光地として、絶好の行楽地となっていたが、震災により市街地エリア内の約9割以上の建物が全壊・流出し、多くの犠牲者が出るなど、甚大な被害が発生。

◎復興のまちづくりに向け、津波から市街地を守る防潮堤や防災緑地などの多重防御の思想を取り入れ、土地区画整理事業による高台住宅地や道路、公園等の公共施設等の整備を一体的に実施。併せて県道豊間四倉線などの道路整備を行うことで、良好な市街地環境と観光振興の基盤を整備。

◎UR都市機構に事業を委託し、CM（コンストラクション・マネジメント）方式の導入により民間の知恵や技術を取り入れ工程の短縮を図るなど、復興まちづくりの促進に向け官民協働で事業を実施。

施行区域	37.0ha (宅地11.8ha、公共用地 25.2ha)
事業期間	平成24～29年度 (清算期間：～35年度)
総事業費	約106億円
整備概要	宅地（換地）：185区画 （うち市有地販売36区画） 区画道路外：全長8.0km 公園：6箇所
主な関連事業	防潮堤（県）、防災緑地（県）、 県道豊間四倉線（県）



(これまでの主な事業経過)

平成24年 8月	震災復興土地区画整理事業の都市計画決定
11月	道路・河川・防災緑地・防潮施設の都市計画決定
平成25年 2月	震災復興土地区画整理事業の認可
	いわき市・UR間の協力協定の締結
9月	第1回土地区画整理審議会の開催 (平成29年9月までに計14回開催)
12月	工事着手に伴う安全祈願祭及び起工式の開催
平成26年 4月	仮換地指定
平成28年 3月	宅地引渡し開始(5区画)
	平成29年7月までに全宅地(185区画)引渡し完了
平成29年 7月	宅地完成式典・薄磯海水浴場海開き(震災後初)の開催
11月	換地計画認可
平成30年 2月	換地処分、新町名・地番施行
3月	復興さくらの会記念植樹祭の開催
	県道豊間四倉線全線開通
7月	竣工記念碑除幕式の開催

復興まちづくりの将来イメージ



工事進捗の様子



(平成26年12月)



(平成27年12月)



宅地完成式典(平成29年7月)



薄磯海水浴場海開き(平成29年7月)

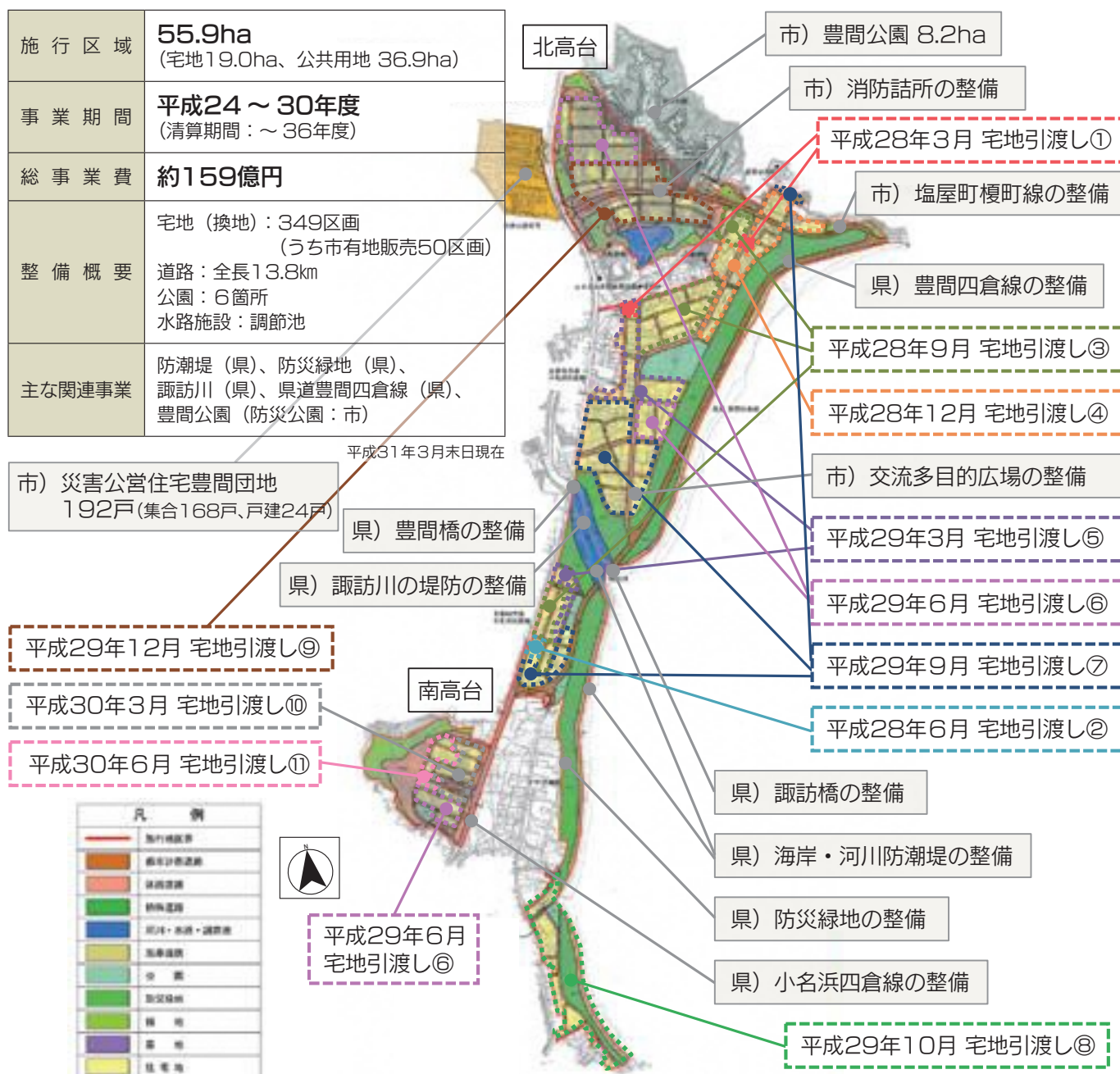
地区の現況(平成30年8月)



事業の概要（豊間地区）

豊間震災復興土地区画整理事業の概要

- 豊間地区は、いわき市平の中心市街地から南東約10kmの太平洋沿岸（塩屋埼灯台の南方）に位置。
- 民宿等観光関連施設からなる市街地が広がる自然と調和した優れた住環境を有し、豊間及び合磯海岸は県内有数の入込客数を誇る観光地であったが、震災により市街地エリア内の約7割以上の建物が全壊・流出し、多くの犠牲者が出るなど、甚大な被害が発生。
- 復興のまちづくりに向け、津波から市街地を守る防潮堤や防災緑地などの多重防御の思想を取り入れ、土地区画整理事業による高台住宅地や道路、公園等の公共施設等の整備を一体的に実施。また、防災公園である豊間公園や県道豊間四倉線などの整備も行い、良好な市街地環境と観光振興の基盤を整備。
- 津波被災6地区最大の施行面積であり、UR都市機構に事業を委託し、CM（コンストラクション・マネジメント）方式の導入により民間の知恵や技術を取り入れ工程の短縮を図るなど、復興まちづくりの促進に向け官民協働で事業を実施。



(これまでの主な事業経過)

平成24年	8月	震災復興土地区画整理事業の都市計画決定
	11月	道路・河川・防災緑地・防潮施設の都市計画決定
平成25年	2月	いわき市・UR間の協力協定の締結
	3月	震災復興土地区画整理事業の認可
	9月	第1回土地区画整理審議会の開催 (平成31年2月までに計20回開催)
	12月	工事着手に伴う安全祈願祭及び起工式の開催
平成26年	9月	仮換地指定
平成28年	3月	宅地引渡し開始(3区画) 平成30年6月までに全宅地(349区画)引渡し完了
平成30年	3月	復興さくらの会記念植樹祭の開催 県道豊間四倉線全線開通
	7月	竣工記念碑除幕式・豊間公園開園式の開催
	11月	換地計画認可
平成31年	3月	換地処分、新町名・地番施行

復興まちづくりの将来イメージ



工事進捗の様子



(平成26年12月)



(平成27年12月)



防災緑地植樹祭(平成28年11月)



豊間公園テープカット(平成30年7月)

地区の現況(平成30年8月)



■小名浜港背後地震災復興土地区画整理事業の概要

◎開発事業協力者に選定したイオンモール㈱と協働で「開発事業計画」を策定するとともに、同社と「開発事業の実施に関する基本協定」を締結し、複合商業施設「イオンモールいわき小名浜」のオープンを実現。

平成31年3月末日現在



(これまでの主な事業経過)

平成22年	3月	都市計画決定（土地区画整理事業）
平成22年	11月	小名浜港背後地開発ビジョンの策定
平成23年	3月11日	東日本大震災の発生
平成24年	1月	本市・イオンモール間で開発事業協力者に関するパートナー基本協定の締結
	4月	震災復興土地区画整理事業の認可
	11月	都市計画決定（津波復興拠点整備事業関係）
平成25年	2月	津波復興拠点整備事業の認可
	3月	まちなか回遊性向上事業 事業（計画策定）採択
	7月	第1回土地区画整理審議会の開催（平成30年5月までに計6回開催）
	8月	仮換地指定（平成26年8月まで）
	12月	工事着手に伴う安全祈願祭及び起工式の開催
平成26年	4月	本市・イオンモール間で開発事業の実施に関する基本協定の締結
平成27年	1月	福島臨海鉄道㈱小名浜新駅コンテナ列車出発式の開催
		小名浜港湾合同庁舎開庁式の開催
平成28年	3月	小名浜港湾建設事務所開所式の開催
	8月	イオンモールいわき小名浜新築工事起工式の開催
平成29年	3月	震災復興土地区画整理事業公共施設整備工事竣工
		津波避難立体歩行者通路、交通ターミナル外整備工事竣工
平成30年	6月	イオンモールいわき小名浜開業・復興まちびらき碑除幕式の開催
	7月	換地計画認可
	11月	換地処分
	12月	新地番施行

復興まちづくりの将来イメージ



工事進捗の様子



(平成24年3月)



(平成27年9月)



コンテナ列車出発式テープカット (平成27年1月)



イオンモールいわき小名浜オープンテープカット (平成30年6月)

地区の現況 (平成30年6月)



事業の概要（小浜地区）

■小浜震災復興土地区画整理事業の概要

- 小浜地区は、いわき市平の中心市街地から南西に約16km、JR常磐線 植田駅から東方約3.5kmに位置。
- 隣接して小浜漁港と小浜海水浴場があり、その北側に集落を形成していたが、震災により、地区内の約9割が被災するなど、甚大な被害が発生。
- ◎津波から市街地を守る防潮堤及び県道泉岩間植田線の整備と土地区画整理事業を一体的に実施し、地域の安全性向上を図りながら、良好な市街地環境を整備。
- ◎県道南側に、水産業や関連事業所等の配置による地場産業の再生を図る。

施行区域	3.8ha (宅地1.7ha、公共用地 2.1ha)
事業期間	平成25～30年度 (清算期間：～32年度)
総事業費	約22.3億円
整備概要	宅地（換地）：32区画 道路：全長1.4km 公園：2箇所
主な関連事業	防潮堤（県）、渚川（県）、県道泉岩間植田線（県）

平成31年3月末日現在



(これまでの主な事業経過)

平成24年	8月	震災復興土地区画整理事業の都市計画決定
	11月	道路・防潮施設の都市計画決定
平成25年	6月	震災復興土地区画整理事業の認可
	11月	第1回土地区画整理審議会の開催 (平成30年7月までに計12回開催)
		工事着工に伴う安全祈願祭・起工式の開催
平成26年	8月	仮換地指定
平成28年	3月	宅地引渡し開始(4区画) 平成30年3月までに全宅地(32区画)引渡し完了
平成29年	1月	渚1号橋の橋梁架替工事竣工
	6月	渚3号橋の橋梁架替工事竣工
平成30年	7月	竣工記念碑除幕式の開催
	8月	換地計画認可
	11月	換地処分
	12月	新地番施行

復興まちづくりの将来イメージ



工事進捗の様子



(平成23年3月)



(平成29年5月)



心の駅復興祭(小浜海岸/平成26年3月)



左義長(盆送り行事)の復活(小浜海岸/平成28年8月)

地区の現況(平成30年8月)



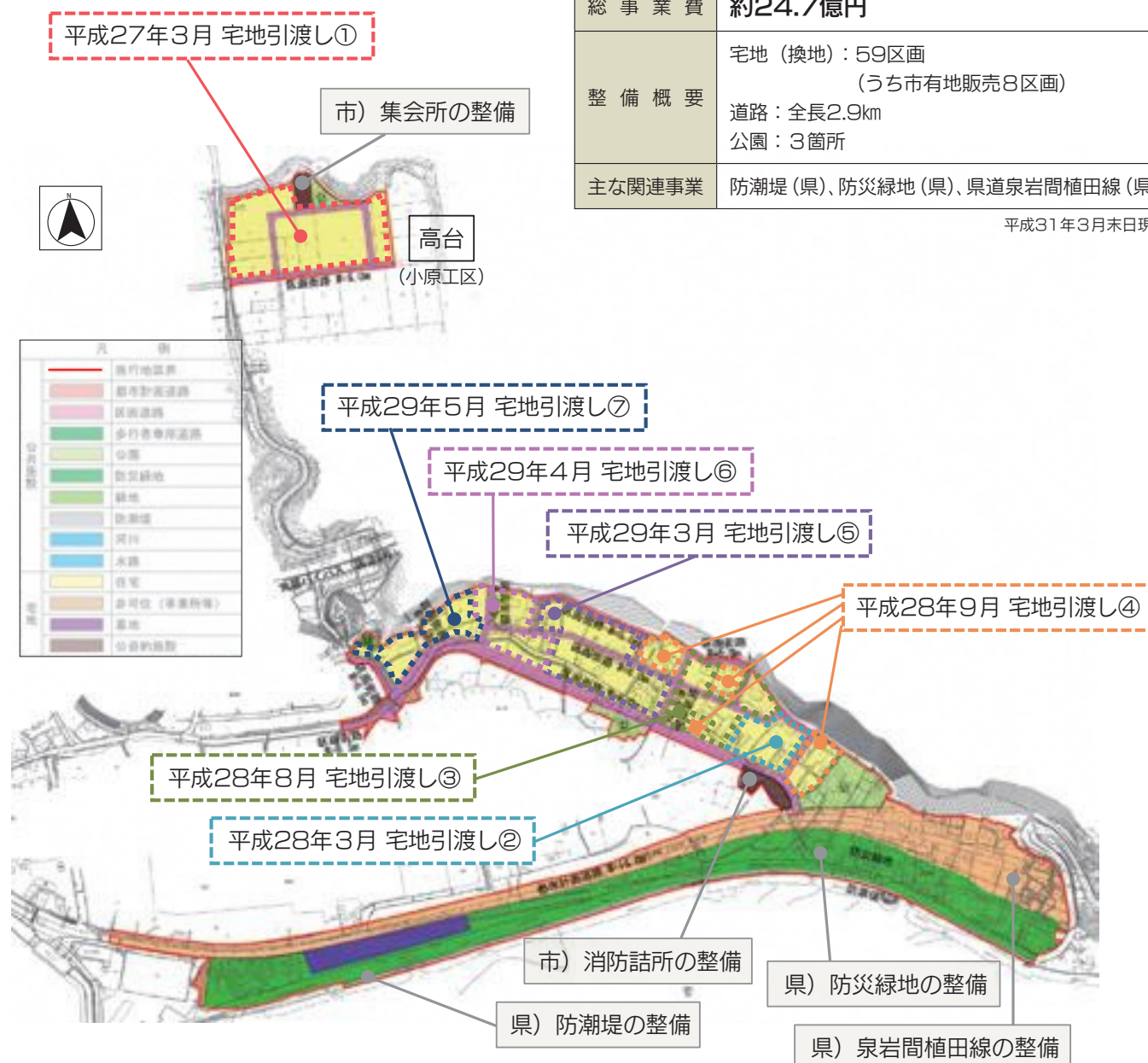
事業の概要（岩間地区）

■岩間震災復興土地地区画整理事業の概要

- 岩間地区は、いわき市平の中心市街地から南西に約17km、JR常磐線 植田駅から東方約2.5kmに位置。
- 地区の西側が常磐共同火力（株）に隣接し、中央部に水田が広がりその北側に集落を形成していたが、震災により、地区内の約4割が被災するなど、甚大な被害が発生。
- ◎津波から市街地を守る防潮堤に、背面の防災緑地及び県道泉岩間植田線を合わせた多重防御施設の整備と、高台及び市街地の2箇所における土地地区画整理事業を一体的に実施。地域の安全性向上を図りながら、良好な市街地環境を整備。

施行区域	12.5ha (宅地4.6ha、公共用地 7.9ha)
事業期間	平成24～30年度 (清算期間：～33年度)
総事業費	約24.7億円
整備概要	宅地（換地）：59区画 (うち市有地販売8区画) 道路：全長2.9km 公園：3箇所
主な関連事業	防潮堤（県）、防災緑地（県）、県道泉岩間植田線（県）

平成31年3月末日現在



(これまでの主な事業経過)

- 平成24年 8月 震災復興土地区画整理事業の都市計画決定
- 11月 道路・防潮施設の都市計画決定
- 平成25年 2月 防災緑地の都市計画決定
- 震災復興土地区画整理事業の認可
- 11月 第1回土地区画整理審議会の開催
(平成30年6月までに計15回開催)
- 工事着工に伴う安全祈願祭・起工式の開催
- 平成26年 8月 仮換地指定
- 平成27年 3月 宅地引渡し開始(18区画)
- 平成29年5月までに全宅地(59区画)引渡し完了
- 小原工区の宅地供用開始に伴う竣工式の開催
- 平成30年 7月 竣工記念碑除幕式の開催
- 8月 換地計画認可
- 11月 換地処分
- 12月 新地番施行

復興まちづくりの将来イメージ



工事進捗の様子



(平成26年12月)



(平成29年5月)



小原工区



小原工区竣工式(平成27年3月)



岩間集会所鍵引渡し式(平成28年12月)

地区の現況 (平成30年8月)



小原工区

震災復興土地区画整理事業のあゆみ

平成22 (2010)年	平成23 (2011)年	平成24(2012)年	平成25(2013)年																								平成26(2014)年								
3月	11月	3月	9月	12月	1月	4月	8月	11月	11月	11月	2月	2月	2月	2月	3月	3月	3月	6月	7月	8月	8月	9月	9月	9月	9月	11月	11月	11月	12月	1月	4月	4月	8月	8月	9月
土地区画整理事業の都市計画決定（小名浜）	小名浜港背後地開発ビジョンの策定	東日本大震災の発生	いわき市復興ビジョンの策定	いわき市復興事業計画（第1次）の策定	本市・イオンモール（株）間で開発事業協力者に関するパートナー基本協定の締結（小名浜）	震災復興土地区画整理事業の認可（小名浜）	震災復興土地区画整理事業の都市計画決定（久之浜・薄磯・豊間・小浜・岩間）	道路・河川・防災緑地・防潮施設の都市計画決定（久之浜・薄磯・豊間）	津波復興拠点整備事業に関する都市計画決定（小名浜）	道路・防潮施設の都市計画決定（小名浜・岩間）	津波復興拠点整備事業の認可（小名浜）	本市・UR間で復興事業の推進に関する協力協定の締結	防災緑地の都市計画決定（岩間）	震災復興土地区画整理事業の認可（久之浜・薄磯・岩間）	震災復興土地区画整理事業の認可（計画策定）採択（小名浜）	震災復興土地区画整理事業の認可（小浜）	第1回小名浜港背後地震復興土地区画整理審議会の開催	第1回久之浜震災復興土地区画整理審議会の開催	仮換地指定（小名浜）	平成26年8月までに計3回指定	平成30年6月までに計12回開催	平成29年9月までに計14回開催	平成31年2月までに計20回開催	平成30年6月までに計15回開催	平成30年7月までに計12回開催	平成30年7月までに計12回開催	震災復興土地区画整理事業安全祈願祭及び起工式の開催（小名浜）	震災復興土地区画整理事業安全祈願祭及び起工式の開催（小浜・岩間）	震災復興土地区画整理事業安全祈願祭及び起工式の開催	震災復興土地区画整理事業安全祈願祭及び起工式の開催	本市・イオンモール（株）間で開発事業の実施に関する基本協定の締結（小名浜）	仮換地指定（薄磯）	仮換地指定（小浜）	仮換地指定（豊間）	仮換地指定（岩間）

復興の現状

久之浜地区



薄磯地区



豊間地区



平成27(2015)年		平成28(2016)年		平成29(2017)年				平成30(2018)年												平成31 (2019)年																																																							
1月	1月	3月	3月	3月	3月	8月	11月	1月	2月	4月	5月	6月	7月	7月	11月	12月	2月	2月	2月	3月	3月	3月	3月	6月	6月	6月	7月	7月	7月	7月	8月	9月	11月	11月	12月	3月																																							
福島臨海鉄道(株)小名浜新駅コンテナ列車出発式の開催		小名浜港湾合同庁舎開庁式の開催		小原工区の宅地供用開始に伴う竣工式の開催(岩間)		小原工区の宅地引渡し(18区画)(岩間)		防災緑地にて植樹祭の開催(久之浜)		県内初となる被災市街地の宅地引渡し開始 (右間地区3区画) (豊間地区3区画) (久之浜地区39区画) (薄磯地区5区画)		小名浜港湾建設事務所開所式の開催		イオンモールいわき小名浜新築工事起工式の開催		防災緑地にて植樹祭の開催(薄磯・豊間)		渚1号橋の橋梁架替工事竣工(小浜)		鶴岡八幡宮(鎌倉市)から寄贈されたツツジの植樹祭(薄磯)		コミュニティ商業施設浜風きららの開業(久之浜)		全宅地(59区画)引渡し完了(岩間)		渚3号橋の橋梁架替工事竣工(小浜)		全宅地(18区画)引渡し完了(薄磯)		宅地完成式典・薄磯海水浴場海開き(震災後初)の開催(薄磯)		換地計画認可(薄磯)		全宅地(213区画)引渡し完了(久之浜)		代ノ下橋・小久川橋の橋梁架替工事竣工(久之浜)		公共施設整備工事竣工(薄磯)		換地処分・新町名・地番施行(薄磯)		全宅地(32区画)引渡し完了(小浜)		県道豊間四倉線全線開通(薄磯・豊間)		復興さくらの会記念植樹祭の開催(薄磯・豊間)		公共施設整備工事竣工(小名浜)		イオンモールいわき小名浜開業・復興まちびらき碑除幕式の開催		公共施設整備工事竣工(久之浜・岩間)		全宅地(340区画)引渡し完了(豊間)		換地計画認可(小名浜)		公共施設整備工事竣工(豊間・小浜)		竣工記念碑除幕式の開催(久之浜・薄磯・豊間・小浜・岩間)		豊間公園開園式の開催		換地計画認可(久之浜・小浜・岩間)		合同竣工式典の開催		換地計画認可(豊間)		換地処分(久之浜・小名浜・小浜・岩間)		新町名・地番施行(久之浜・小名浜・小浜・岩間)		換地処分・新町名・地番施行(豊間)	

小名浜港背後地



小浜地区



岩間地区





薄磯地区



久之浜地区



豊間地区



岩間地区



小浜地区



いわき市

平成30（2018）年9月発行・31（2019）年3月一部改訂

編集・発行／いわき市都市建設部 都市復興推進課

〒970-8686 いわき市平字梅本21番地 ☎0246（22）7530